

小児ストーマ

メディバンク株式会社
編集部 学術担当
皮膚・排泄ケア認定看護師
村松 恵



本日の内容



01

小児で消化管ストーマを有する疾患

02

成人のストーマとの違い

03

小児用装具の実際

こんな症例と出会ってませんか？

- ストーマと創部が近い
- ストーマと鼠径部が近い
- 下肢の動きが活発

術直後 どんな装具を貼りますか？

管理が難しい困難例にもよく出会いますよね？

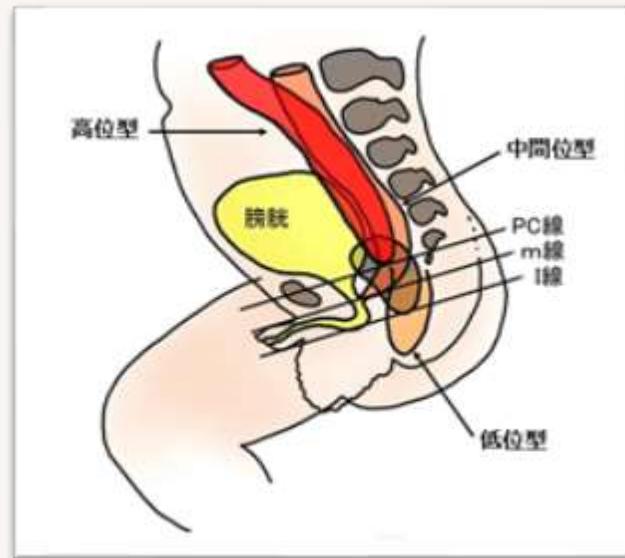
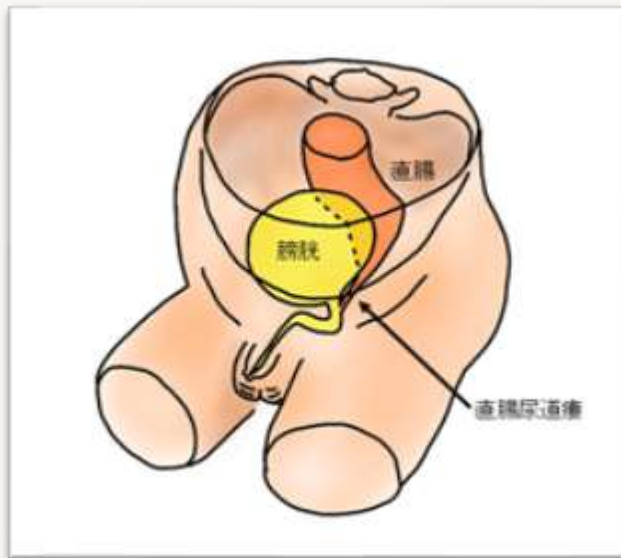
- ストーマの高さがない
- ストーマの色が悪い
- 創部やドレーンが複数
- 浮腫が著明

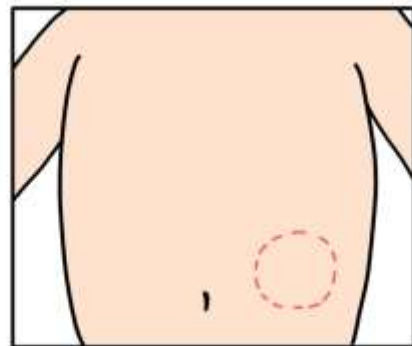
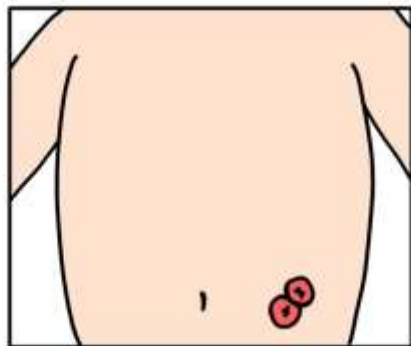
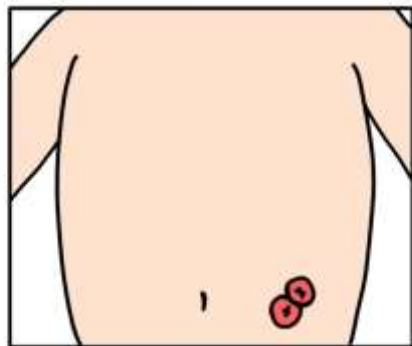
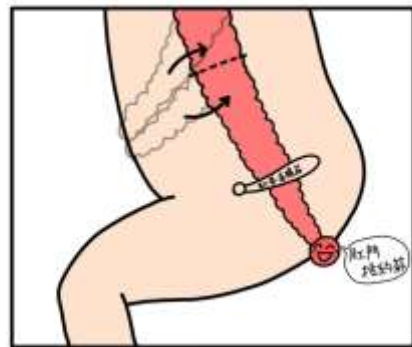
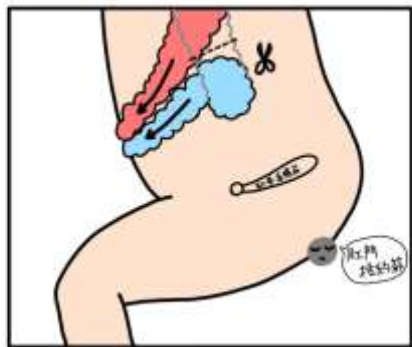
こんな時 どんなケアが必要でしょうか？

小児ストーマが必要になる疾患

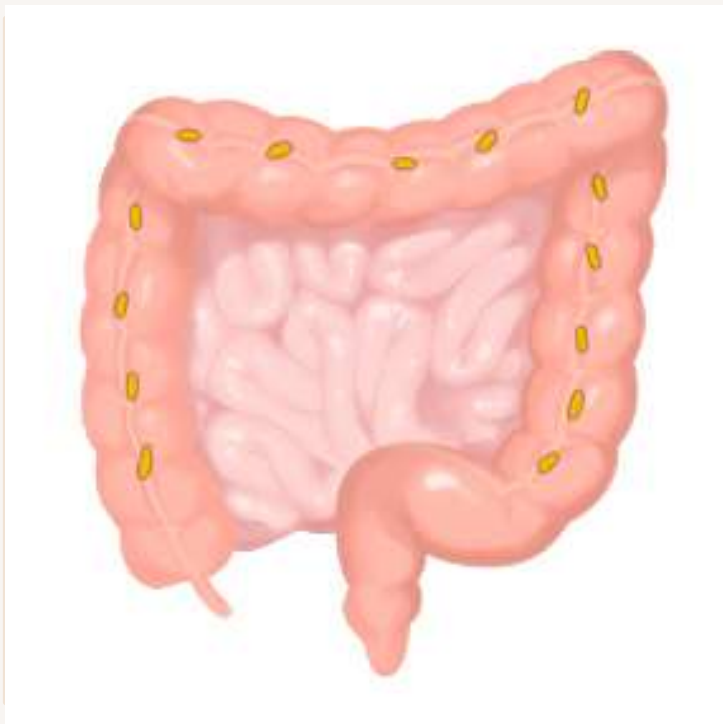
種類	疾患・病態	おもな造設部位
一時的ストーマ	直腸肛門奇形(中間位・高位) ヒルシュスプルング病 壊死性腸炎 限局性腸穿孔 胎便関連性腸閉塞 骨盤・肛門部腫瘍 炎症性腸疾患	横行結腸・S状結腸 正常腸管末端 小腸(腸管血流量後部) 小腸(穿孔部位) 小腸(拡張部末端) 結腸(通過障害の手前) 小腸(病変部手前)
永久的/一時的	ヒルシュスプルング病類縁疾患	小腸
永久的ストーマ	総排泄腔外反	結腸末端

鎖肛





ヒルシュスプルング病



- ✓ 消化管の蠕動の役割を果たすために必要な神経細胞が、肛門から連続して欠如するために、その範囲の消化管の運動が起こらず、腸閉塞をきたす病気。
- ✓ 5000出生に一人の割合でのこの病気が発生します。
- ✓ お腹が張る、胎便がなかなか出ない、嘔吐などの症状が出ます。

小児ストーマと成人ストーマの違い



症例数の少なさ

そもそも小児ストーマは成人ストーマに比べてその数が少ない



そもそも皮膚が違う

新生児、幼児、学童など発達段階に応じて皮膚の特徴が違う



成長への影響

増設される時期によっては、成長発達を妨げ、母児分離状態の長期化、それによる親子の愛着形成の変調をきたす可能性も



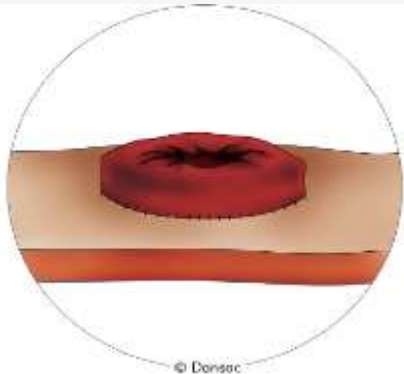
全人的なケアを

基本的人格を形成する時期でもあり、全人的なケアが必要

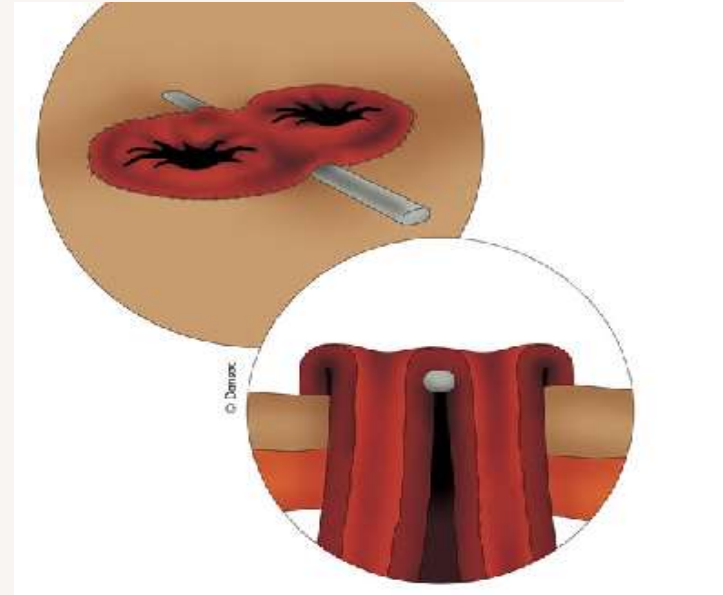


消化管ストーマの分類 (開口部の数)

単孔式ストーマ



双孔式ストーマ





小児ストーマ管理上の特徴



ストーマを無視した行動

正確な訴えができない

01

皮膚が脆弱

不感蒸泄が盛ん

02

腹部面積が小さい

下腹部に深い皺

03

便性が安定しない

水様便になりやすい

04

成長・発達が著しい

腹部の形状は常に変化している

05



小児ストーマ管理上の問題点



掻きむしる・袋をひっぱる
皮膚炎の悪化につながる

01

異常の発見が遅れる可能性

02

皮膚保護材の粘着に影響
皮膚炎を発生しやすい

03

04

刺激や感染に対する防御力が弱い、
上皮が欠損しやすい

05

下肢の動きで
ソケイ部の皮膚の可動性が大きい
ストーマ袋がはがれやすい

06

活発な体動により粘着力が低下

術前のケア

術前の両親の心理調整

- 小児ストーマの多くは「緊急手術」によって造設されることが多い。
- その短い時間の中で
 - 「疾患の説明」
 - 「ストーマ造設の告知」
 - 「術前オリエンテーション」
 - 「ストーマサイトマーキング」といった多くのことが行われる。



新生児期のストーマケアの特徴



小児のストーマの多くは、
出生直後や新生児期に造設される

緊急性が高く、危機状況の時もあるが、
可能な限りストーマサイトマーキング
を行う。



身体的な特徴がストーマケアに影響

皮膚が脆弱なだけでなく、腹部の面積も
小さいく、ドレーンが隣接していることも
少なくない。出生直後は循環動態も不安定。



家族のサポートが必要

出生直後にわが子が手術になることは、
両親の不安が大きい。



新生児期のストーマ装具選択



KG系

術直後の排便が少ない時は装具を貼らないこともある。新生児の皮膚の脆弱性を配慮し、KG系の皮膚保護剤を使用した装具を選択する。



CPB系・CPBS系

ミルクの摂取が開始されると排泄物が増加するため、耐久性のあるCPB系やCPBS系の皮膚保護剤を使用した装具を選択する。



CPBF系

新生児では市販の装具ではサイズが合わないこともある。市販の装具で一番小さい装具はCPBF系の皮膚保護剤を使用した装具。



術後ケアの実際

✓ ストーマ自体の大きさが小さい

✓ ストーマの位置が臍に近い

✓ ストーマの高さが十分でないことが多い

✓ ストーマの位置が鼠径部に近い

✓ 循環動態が不安定なことが多い

術後ケアの実際

- ✓ ストーマ袋の貼付の向きが成人と異なる場合がある
- ✓ 水様便の場合にはストーマ袋の中にガーゼやティッシュを入れて、水分を吸収する工夫をする場合もある
- ✓ ベルトを使用する場合にはストーマ袋の貼付の向きを変更する

乳児期のストーマケアの特徴

入院から在宅へ

01

乳幼児期は、皮膚の脆弱性に加え発汗も増え、スキンケアが重要に

02

入院中からケアの主体は徐々に家族へと移行。観察ポイントや適切な処置を指導し、家族がストーマケアに慣れるように指導

03

乳児期は身体的な変化が大きい。身長・体重の変化に伴って腹壁の面積や丸みも変化

04

運動機能が発達し、寝返り、お座り、、ハイハイと動きが活発になる

05

お座りでは腹部に深い皺が入り漏れの原因にもなる。ハイハイや歩行を始めたら、下肢の動きがさらに増す

06

離乳食の開始に伴って便性の変化や、便量や排ガスの増加がみられる。成長発達の著しいこの時期はストーマケアに難渋することが多い

乳児期のストーマ装具選択



乳児期から幼児期にかけての成長が著しいことから、新生児に使用していた平面装具では漏れを生じてくることもある。



腹壁の脂肪層が増えるため、腹壁に追従しにくくなること、体位や活動性の変化に伴って皺や漏れが生じてくること、発汗量の増加、便性の変化に伴う皮膚保護剤の耐久性の低下、があり個々の成長に合わせたケアが必要になる。



座位の時にはストーマ周囲に硬い面板を使用したKPB系やCKG系を装具に変更し、付属のベルとタブに弾性包帯を使用し腹部に固定することで、座位によって生じるストーマ近接部の深い皺を押さえ、漏れを防げる。

術後ケアの実際

- ✓ ストーマ袋をはがしたときは、仰臥位と座位、両方になり観察を
- ✓ 仰臥位では高さが十分にあるストーマでも . . .
- ✓ 座位になるとストーマが埋もれてしまうことも
- ✓ 乳児以降は下腹部に深いしわが出来ることが多く漏れの原因にも

術後ケアの実際

- ✓ 疾患によってはダブルストーマになることも・・・
- ✓ ストーマの位置関係を丁寧に評価する必要がある
- ✓ 二つのストーマを同じ装具で管理できないことが多い
- ✓ コストの面からも手帳の交付がされているかの確認を

学童期のストーマケアの特徴

01

就学の際は学校生活がスムーズに送れるように学校側の理解が必要。担任や養護教諭に疾患やストーマケアについて説明し、理解と協力をもとめられるようにする。

02

排泄経路が違うことに関してコンプレックスを抱いたり、いじめの対象につながったりすることもあるため、学校の様子をストーマ外来で聞くことが必要。

03

言葉を理解し、ストーマを認識できるようになる。児の理解度に合わせてセルフケアを進めていく。



ストーマ用品

ストーマ装具

ストーマに装着する器具のこと

単品系（ワンピース系）装具



二品系（ツーピース系）装具



小児用プロケア 1 ポストオペ (アルケア)

1. 全面皮膚保護剤の面板
2. カラヤプラスト（KG系皮膚保護剤）の面板に、フレア袋を装備した
単品系装具
3. 術直後に多く用いられる
4. 面板部分を最小50mmにできるため低出生体重児にも使用可能

こども用カラヤ5ドレイン (ホリスター)

1. 厚み 5 mm のカラヤ 5 シーリング (KG系皮膚保護剤) にマイクロポアで支持された面板を使用している
2. 単品系凸面装具
3. テープ部分をトリミングでき、接皮面積を60mmまで小さくできる

小児用プロケア 1・D (アルケア)

1. プロケアウエハー（KPB系皮膚保護剤）を面板に使用
2. 袋接合部に楕円のベルトフック付きリングが装備されている
3. 面板が厚く、ベルトや包帯で固定できる単品系装具

イージーフレックス (コロプラスト)

1. ニュースイスロールER皮膚保護剤の白色の層に伸縮性と柔軟性に優れた疎水性ポリマーのSISを少量配合した皮膚保護剤を使用
2. 吸水力に優れ、粘着力が比較的弱い

ノバ1 インファントドレイン (ダンサック)

1. GX親水性皮膚保護剤（CPB系、コットンファイバーを含む）を使用
2. 非常に薄い皮膚保護剤の構造

粉状皮膚保護剤

親水性ポリマーでできており高い吸水作用とPHの緩衝作用をもつ。

水分を吸収してゲル化し、密着してバリア機能を果たす。

ストーマ周囲皮膚にびらんが生じたときや、ストーマと皮膚保護剤の隙間を埋めるときに散布する。



皮膚皮膜座剤

皮膚表面に薄い膜を作り、排泄物の付着やテープなどの剥離刺激から保護する。面板外周にテープを貼付する場合に使用し、皮膚保護剤部分には使用しない。



剥離剤（リムーバー）





ご清聴
ありがとうございました